

2021年度第3四半期決算説明資料

2022年2月7日

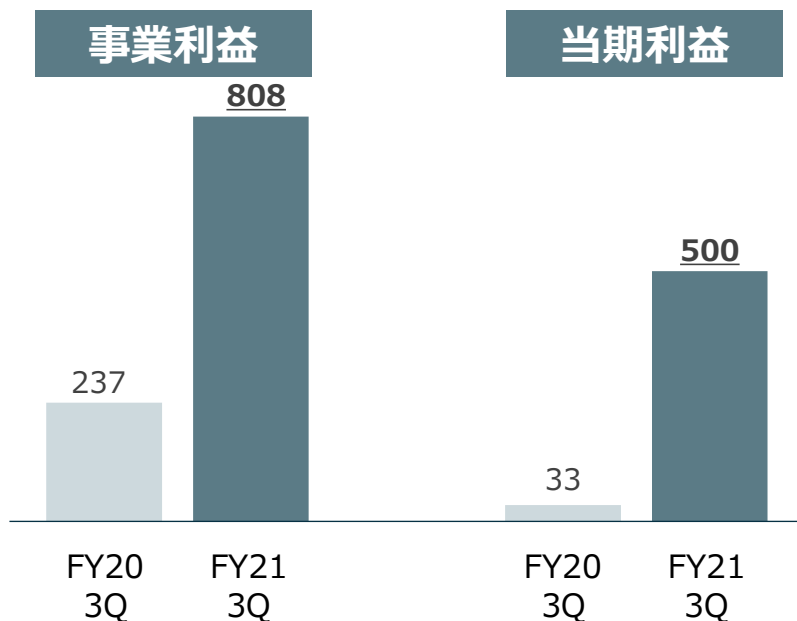
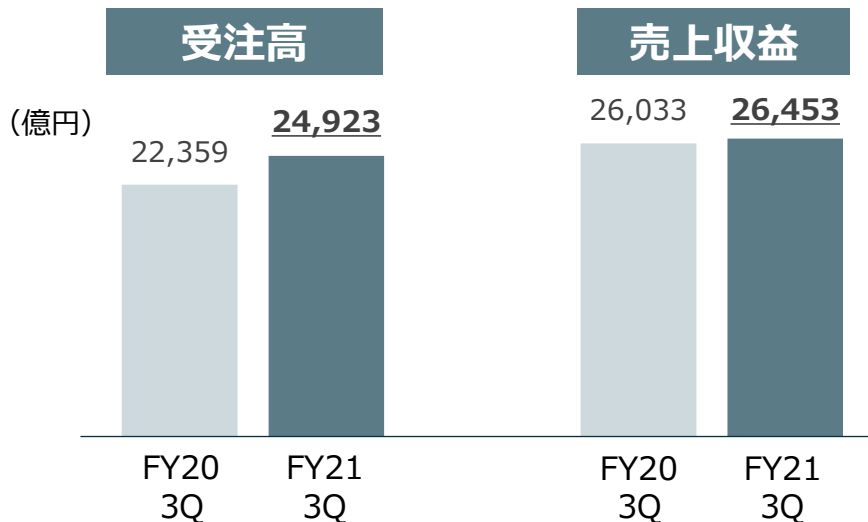
I . 2021年度第3四半期決算実績

- 連結経営成績サマリー 4
- 連結財政状態 6
- キャッシュ・フロー 8
- セグメント情報 9-12
(受注高・受注残高/売上収益/事業利益)
- 事業利益増減分析 13
- コロナ影響を受けた主な事業の現況 14
- 第3四半期決算の総括 15

II . 2021年度業績見通し 17-18

III . 補足資料 20-25

I . 2021年度第3四半期決算実績



■ 受注高

- プラント・インフラ（製鉄機械等）及び物流・冷熱・ドライブシステム（物流機器・冷熱等）の受注が増加
- エナジーは、バイオマス発電所新設案件等の受注が増加したものの、GTCCで昨年度大型案件の受注があったことによる反動により、全体では減少
- 民間航空機Tier1の受注は低位継続

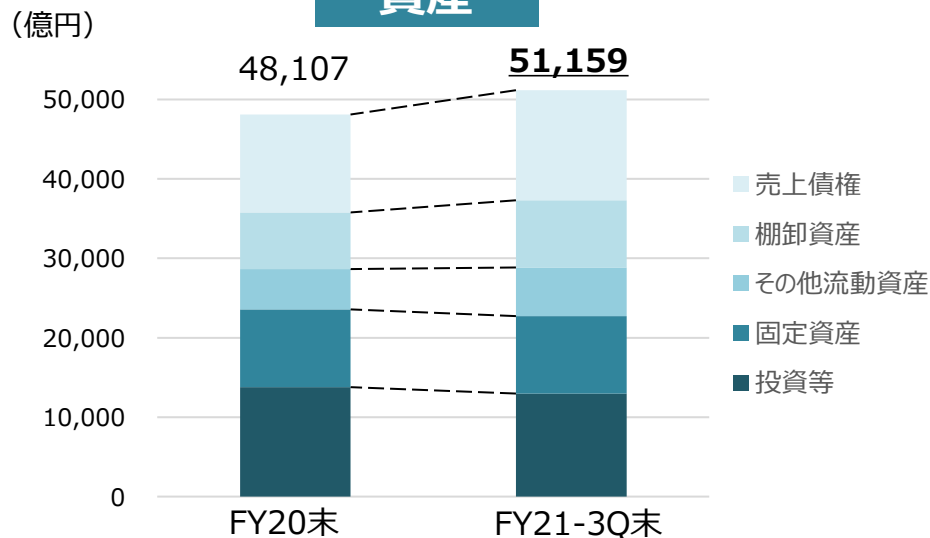
■ 売上収益、利益

- 航空・防衛・宇宙以外の3セグメントは増収
- 全セグメントで黒字化

(億円)

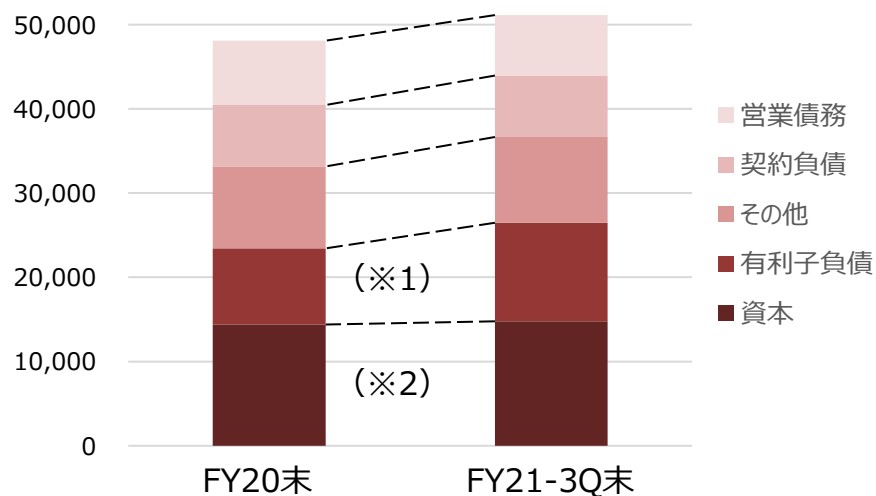
	2020年度3Q		2021年度3Q		増減	
	(利益率)		(利益率)		(増減率)	
受注高		22,359		24,923	+2,563	(+11.5%)
売上収益		26,033		26,453	+419	(+1.6%)
事業利益	(0.9%)	237	(3.1%)	808	+571	(+240.7%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(0.1%)	33	(1.9%)	500	+467	(+1,414.7%)
EBITDA	(5.0%)	1,292	(6.8%)	1,792	+500	(+38.7%)
フリーCF		△6,390		△1,481	+4,909	-

資産



- 総資産は前年度末から3,052億円増加
- 主な要因は運転資金の期中変動

負債・資本



	FY20末	FY21-3Q末	増減
有利子負債残高 (億円)	9,056	11,712	+2,655
自己資本比率	28.4%	27.3%	△1.1pt
D/Eレシオ	0.63	0.79	+0.16

主な内訳 (億円)

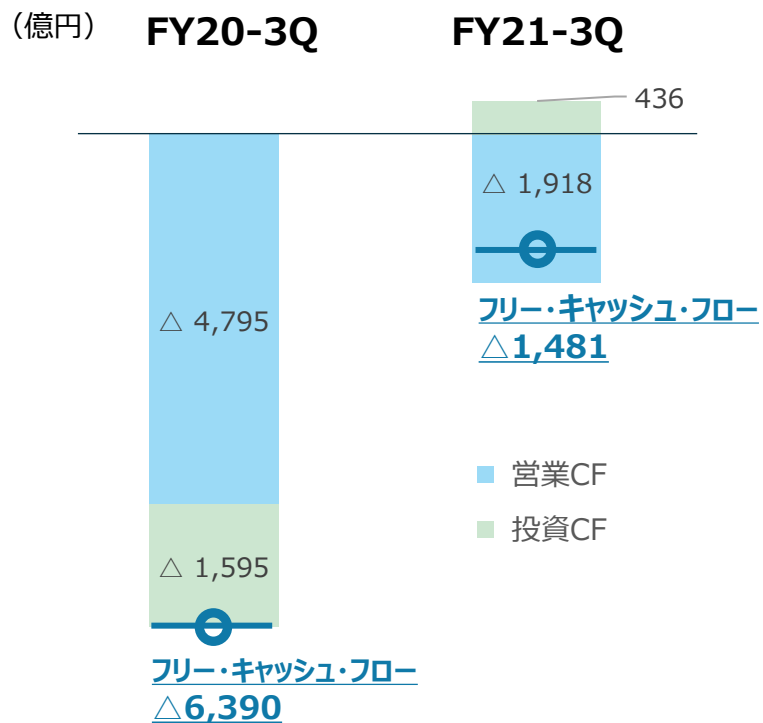
(※1) CP+2,570

(※2) 当期利益+500、配当△403

(億円)

	FY20末	FY21-3Q末	増減
売上債権（営業債権、契約資産）	12,341	13,848	+1,507
棚卸資産	7,134	8,445	+1,310
その他流動資産	5,070	6,129	+1,059
（現金及び現金同等物）	(2,454)	(3,582)	(+1,128)
固定資産	9,789	9,777	△11
投資等	13,771	12,958	△813
資産合計	48,107	51,159	+3,052

営業債務	7,637	7,211	△426
契約負債	7,318	7,271	△47
その他	9,701	10,186	+484
有利子負債	9,056	11,712	+2,655
資本	14,393	14,778	+384
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(13,663)	(13,959)	(+296)
負債・資本合計	48,107	51,159	+3,052



■ フリー・キャッシュ・フロー

営業/投資キャッシュ・フローともに順調に推移していることを踏まえ、前回公表値の通期見通し（+0）から、+1,000億円上方修正

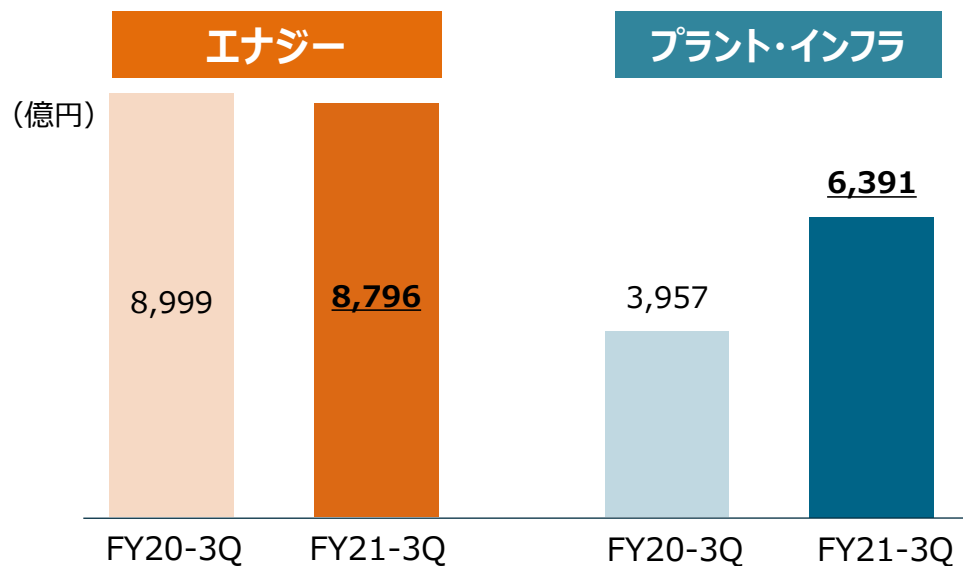
■ 営業キャッシュ・フロー

利益の増加に加え、製鉄機械の受注増加等に伴う前受金減少幅の縮小により、前年同期から+2,877億円の改善

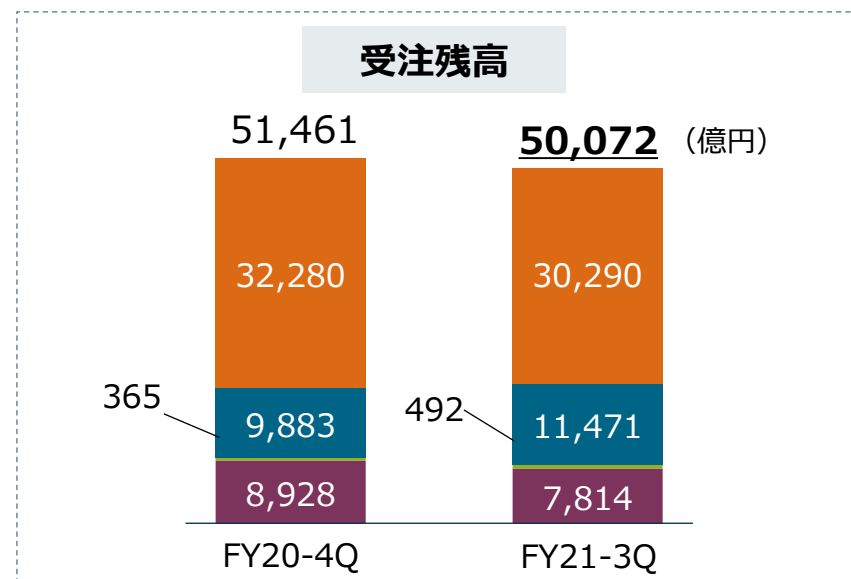
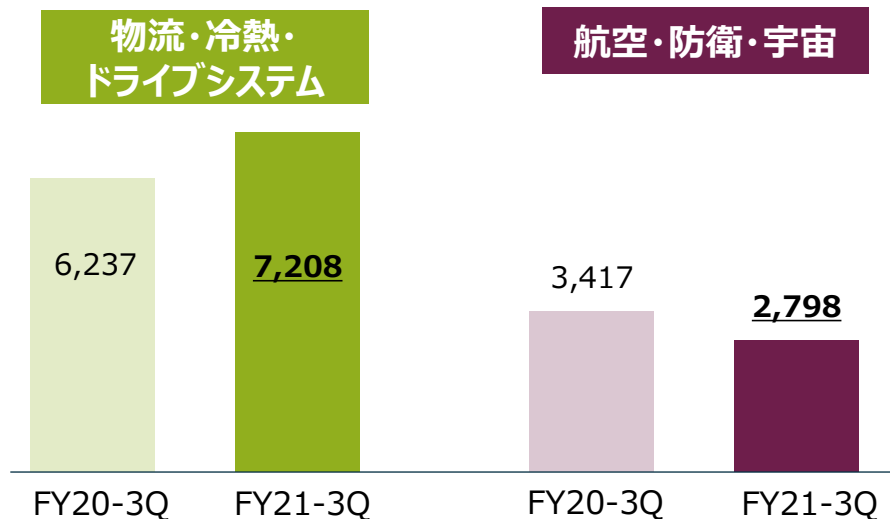
■ 投資キャッシュ・フロー

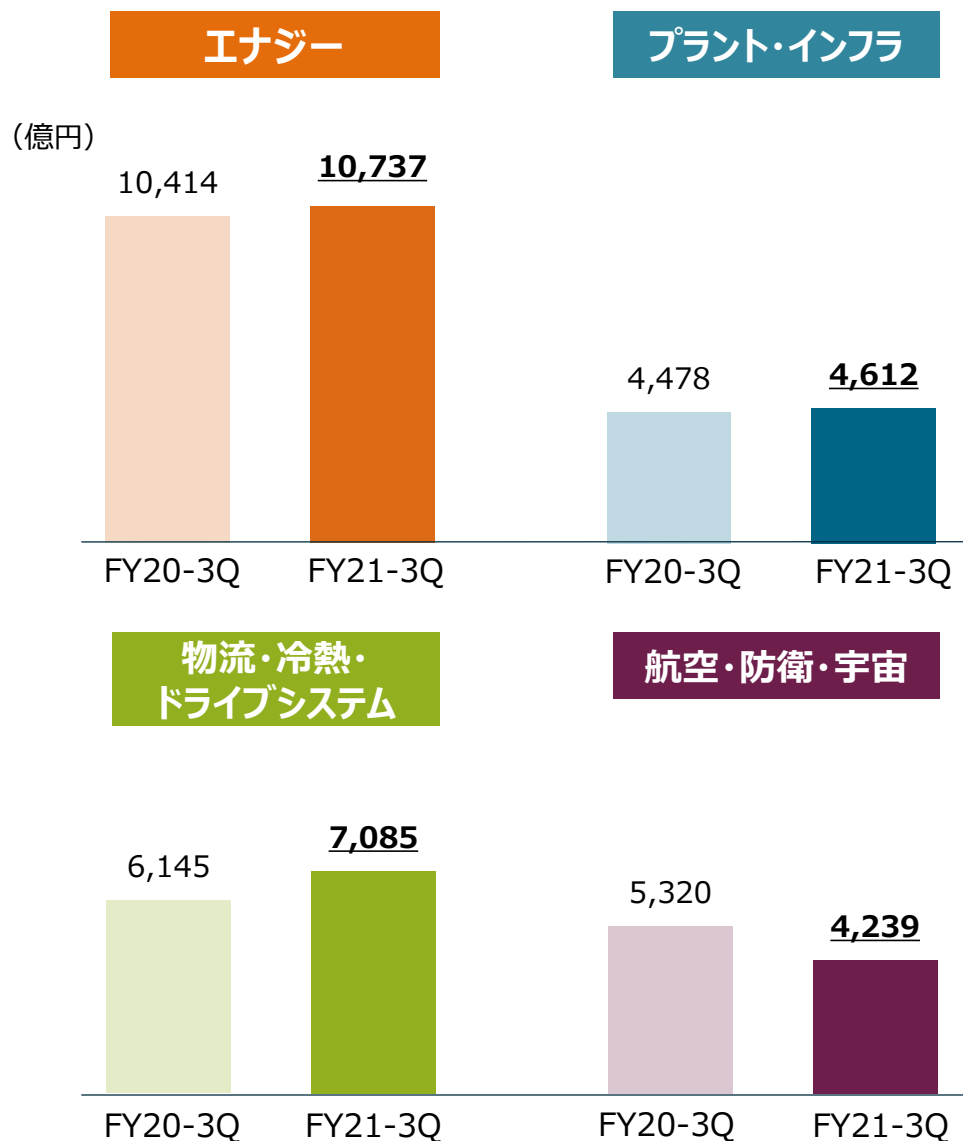
アセットマネジメント（不動産及び株式の売却）が前倒しで進捗
成長領域とカーボンニュートラルへの投資資金を創出

セグメント別 受注高・受注残高

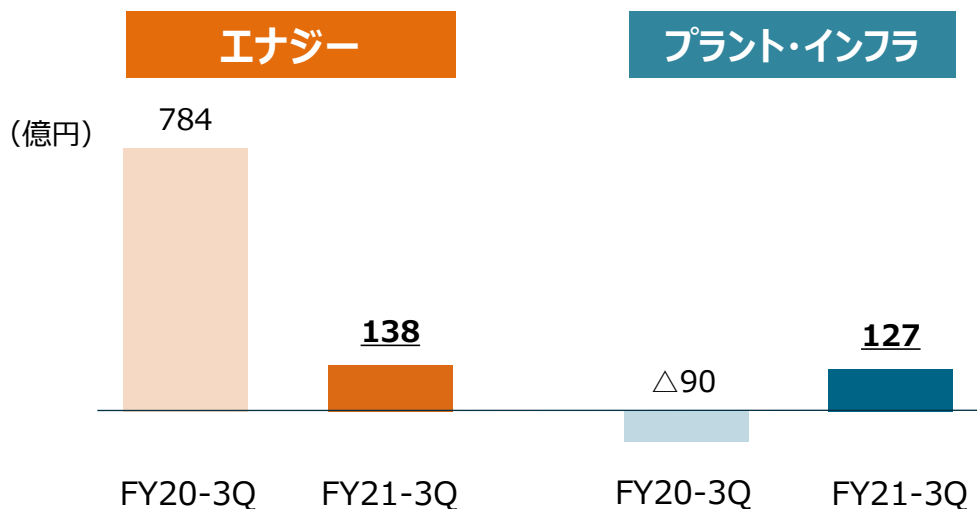


- エナジー
 - 増加：スチームパワー（バイオマス等）
 - 減少：GTCC
- プラント・インフラ
 - 増加：製鉄機械、機械システム、商船
 - 減少：エンジニアリング
- 物流・冷熱・ドライブシステム
 - 増加：物流機器、冷熱、エンジン
- 航空・防衛・宇宙
 - 増加：CRJ
 - 減少：民間航空機Tier1





- エネルギー
増収：GTCC、航空エンジン
減収：スチームパワー
- プラント・インフラ
増収：製鉄機械、環境設備
- 物流・冷熱・ドライブシステム
増収：物流機器、冷熱、エンジン
- 航空・防衛・宇宙
増収：艦艇・特殊機械
減収：防衛航空機・飛昇体、宇宙、民間航空機

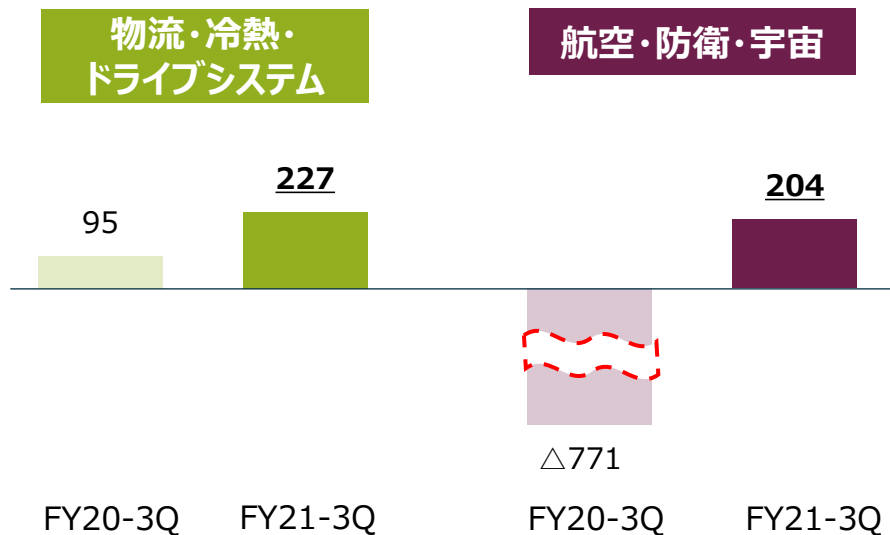


- エネルギー
増益：GTCC、スチームパワー、航空エンジン
減益：洋上風車（FY20: MVOW株式譲渡）

- プラント・インフラ
増益：製鉄機械、エンジニアリング

- 物流・冷熱・ドライブシステム
増益：物流機器、ターボチャージャ、エンジン

- 航空・防衛・宇宙
増益：SpaceJet関連費用の大幅削減
艦艇・特殊機械、CRJ
減益：防衛航空機・飛昇体、宇宙、民間航空機Tier1

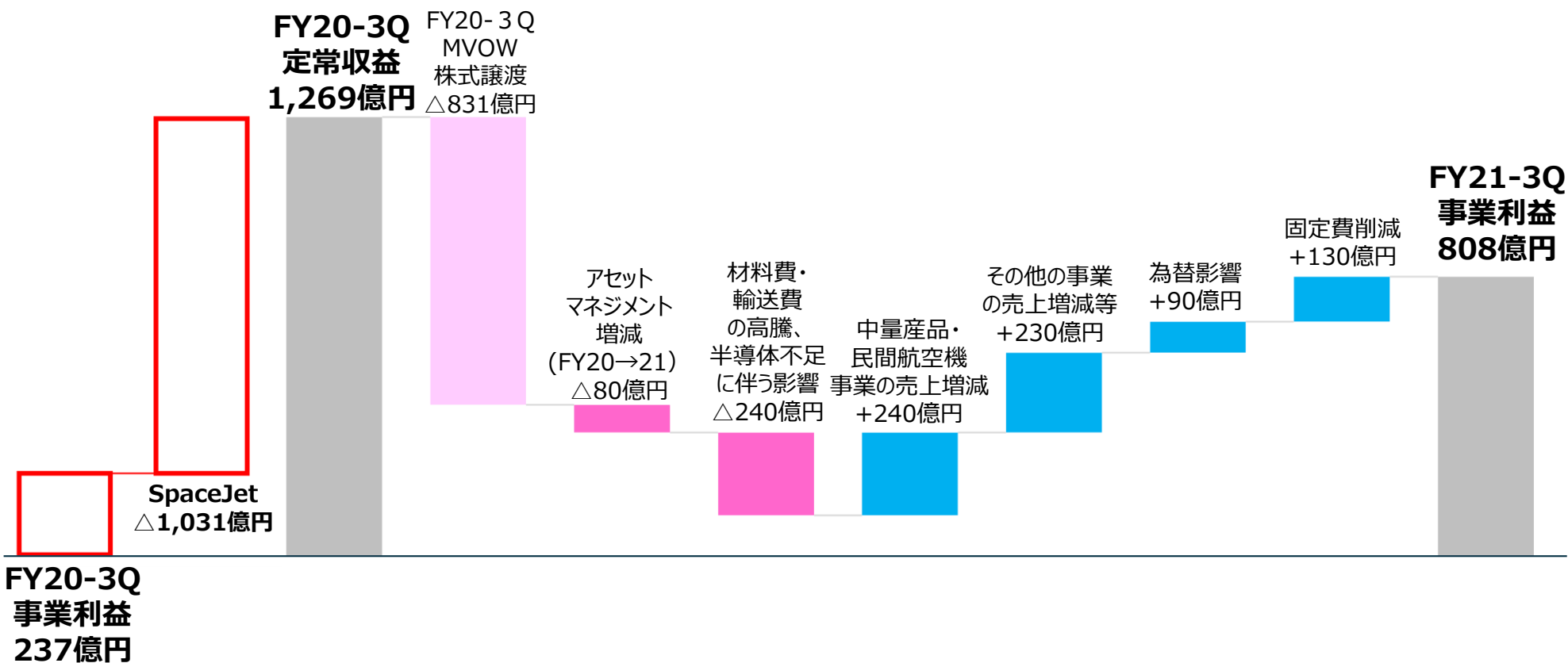


2021年度第3四半期決算実績 セグメント別内訳

(億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY20 3Q	FY21 3Q	増減	FY20 3Q	FY21 3Q	増減	FY20 3Q	FY21 3Q	増減
エネルギー	8,999	8,796	△203	10,414	10,737	+322	784	138	△645
プラント・インフラ	3,957	6,391	+2,433	4,478	4,612	+133	△90	127	+217
物流・冷熱・ ドライブシステム	6,237	7,208	+970	6,145	7,085	+939	95	227	+132
航空・防衛・宇宙	3,417	2,798	△618	5,320	4,239	△1,081	△771	204	+976
その他	△251	△271	△19	△325	△220	+105	220	110	△109
合計	22,359	24,923	+2,563	26,033	26,453	+419	237	808	+571

- 材料費・輸送費の高騰や半導体不足に伴う減益影響は継続しているものの、中量産品と航空エンジンはコロナ影響から回復基調
- 受注品事業は構造改革の進捗により採算が改善
- 三菱パワー統合などの施策により、固定費削減は順調に進捗

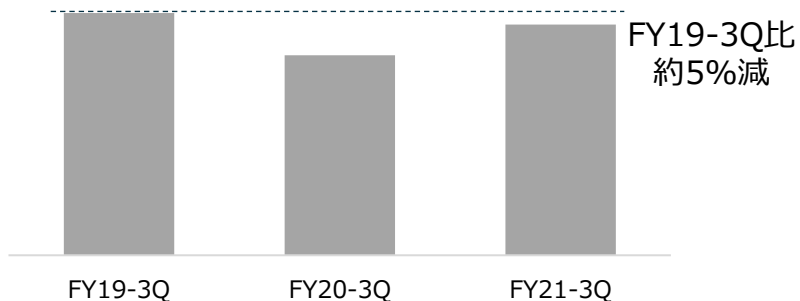


事業

売上実績

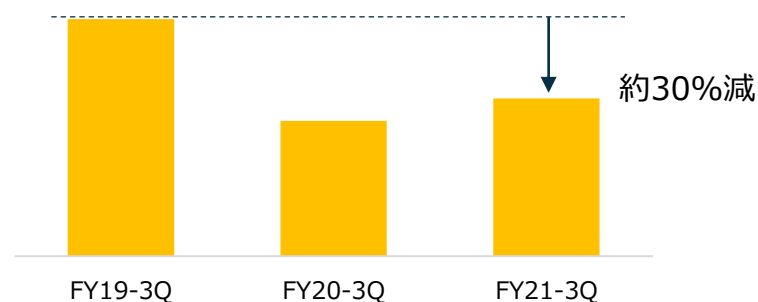
FY21-3Q末の状況

中量産品



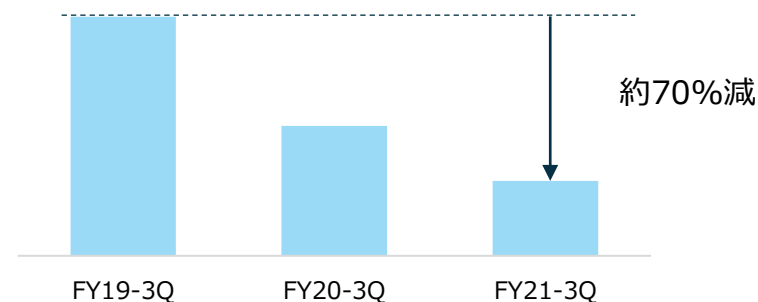
- 売上収益は一昨年（コロナ前）と同レベルまで回復。

民間航空機 航空エンジン



- 国内線を主体とした狭胴機や燃費の良い新型機種を中心に市況回復基調。

民間航空機 構造Tier1



- 国内線旅客需要は米中欧で回復傾向にあるが、国際線旅客需要の回復には時間を要する。
- B787減産の影響あり。

■ 受注

民間航空機等で市況の厳しさは残るものの、製鉄機械・中量産品事業（物流・冷熱・ドライブシステム）を中心に回復基調。

■ 売上収益、利益

- ・ 2021事業計画で掲げた各種施策は順調に進捗。
- ・ 中量産品や航空エンジンのコロナ影響からの回復、受注品事業の構造改革推進、組織再編・業務改善等による固定費削減、事業ポートフォリオの組み替え効果などにより、3Q業績は前年同期比で増収・増益。
- ・ 4Qの売上進捗予想等を踏まえ、通期業績見通し達成を見込む。

■ キャッシュ・フロー

- ・ アセットマネジメント（不動産及び株式の売却）を前倒しで進め、成長領域とカーボンニュートラルへの投資資金創出。
- ・ 営業/投資キャッシュ・フローともに順調に推移していることを踏まえ、フリー・キャッシュ・フローを前回公表値の通期見通し（+0）から、+1,000億円上方修正。

Ⅱ. 2021年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2021年度業績見通し サマリー

前回公表値 (2021年10月29日) からフリーCF見通しを上方修正

(億円)

	2020年度実績		2021年度見通し		対前年度増減	
	(利益率)		(利益率)	今回見通し	前回公表値	(増減率)
受注高		33,363		36,000	36,000	+2,637 (+7.9%)
売上収益		36,999		37,500	37,500	+501 (+1.4%)
事業利益	(1.5%)	540	(4.3%)	1,600	1,600	+1,060 (+195.8%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(1.1%)	406	(2.7%)	1,000	1,000	+594 (+146.1%)

ROE		3.1%		7.1%	7.1%	+4.0pt -
EBITDA	(5.2%)	1,933	(7.7%)	2,900	2,900	+967 (+50.0%)

フリーCF		△2,771		1,000	0	+3,771 -
-------	--	--------	--	-------	---	----------

配当		75円		90円	90円	【前提為替レート】 【未確定外貨】 1ドル = 110 円 24億ドル 1ユーロ = 130 円 3億ユーロ
		(中間0円/期末75円)		(中間45円/期末45円)		

2021年度業績見通し セグメント別内訳

前回公表値 (2021年10月29日) から変更なし

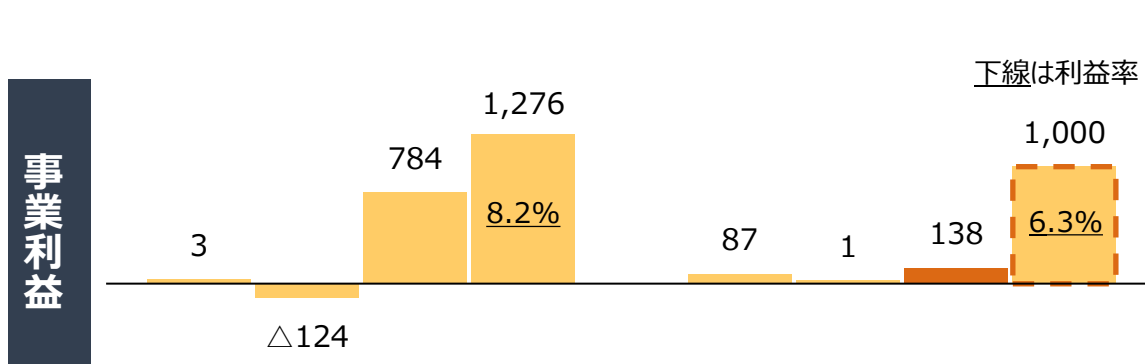
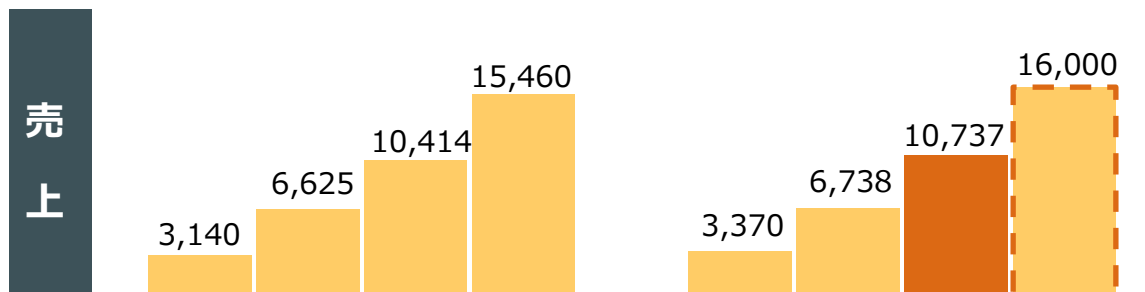
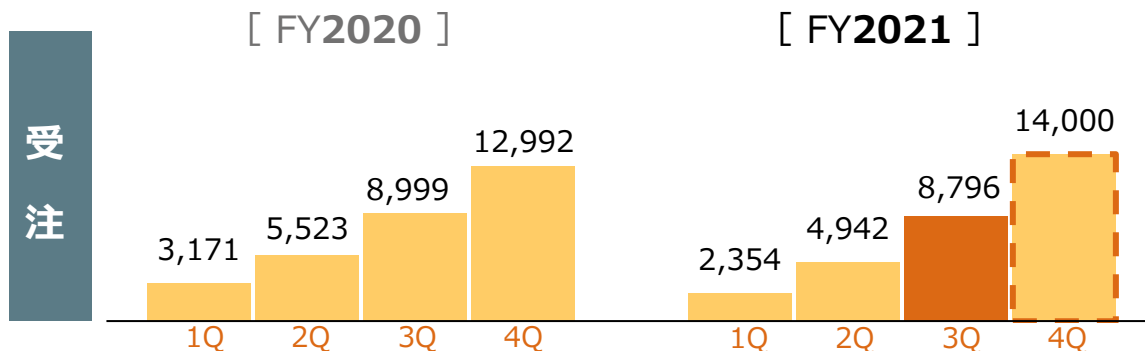
(億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY20 実績	'21年度 見通し	対前年度 増減	FY20 実績	'21年度 見通し	対前年度 増減	FY20 実績	'21年度 見通し	対前年度 増減
エネルギー	12,992	14,000	+1,008	15,460	16,000	+540	1,276	1,000	△276
プラント・インフラ	5,752	7,000	+1,248	6,372	6,500	+128	△102	200	+302
物流・冷熱・ ドライブシステム	8,680	9,500	+820	8,603	9,500	+897	156	300	+144
航空・防衛・宇宙	6,262	6,000	△262	7,021	6,000	△1,021	△948	200	+1,148
その他	△324	△500	△176	△457	△500	△43	158	△100	△258
合計	33,363	36,000	+2,637	36,999	37,500	+501	540	1,600	+1,060

Ⅲ. 補足資料

補足資料 第3四半期決算実績〈エナジー〉

(億円・各期の数値は累計)



(主な事業の受注)

	FY20-3Q	FY21-3Q
GTCC	3,796	3,411
スチームパワー	1,635	2,532
航空エンジン	382	511
原子力	1,684	1,372

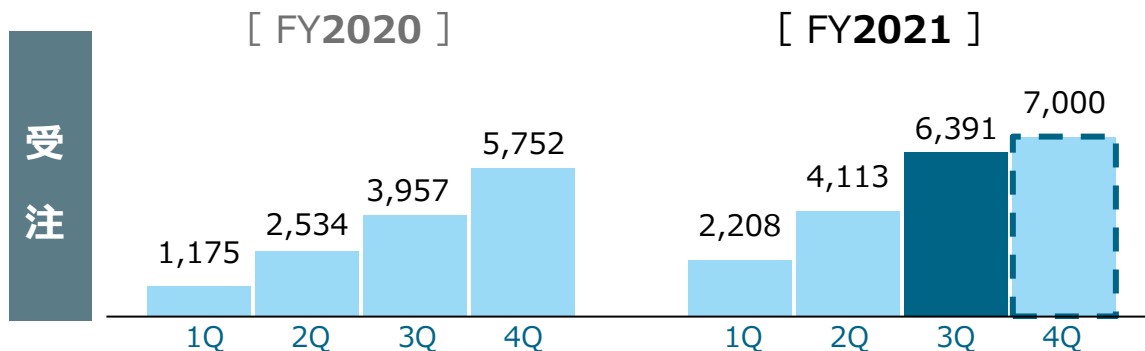
(主な事業の売上)

	FY20-3Q	FY21-3Q
GTCC	3,488	4,149
スチームパワー	3,636	3,481
航空エンジン	413	481
原子力	1,589	1,411

- スチームパワーの受注は、バイオマス発電所新設案件等により、前年同期比増加。
- 航空エンジンの受注は復調基調。
- セグメント全体の事業利益は、IGCC（勿来、広野）の不適合発生などにより低調。
- 火力のアフターサービスや原子力を中心に、年度末にかけて売上が集中する計画。

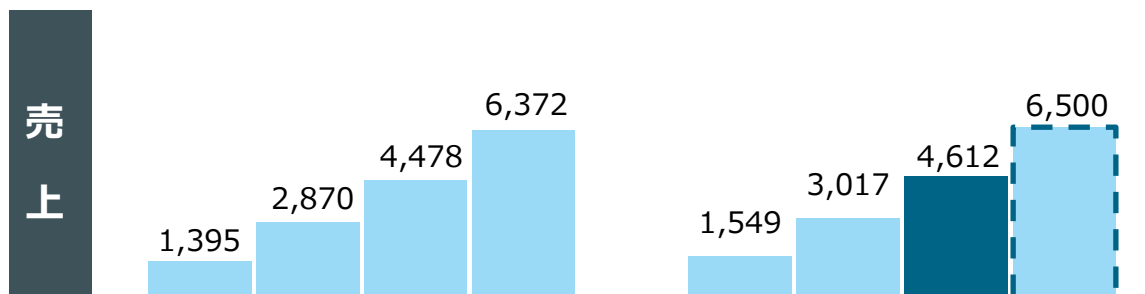
補足資料 第3四半期決算実績〈プラント・インフラ〉

(億円・各期の数値は累計)



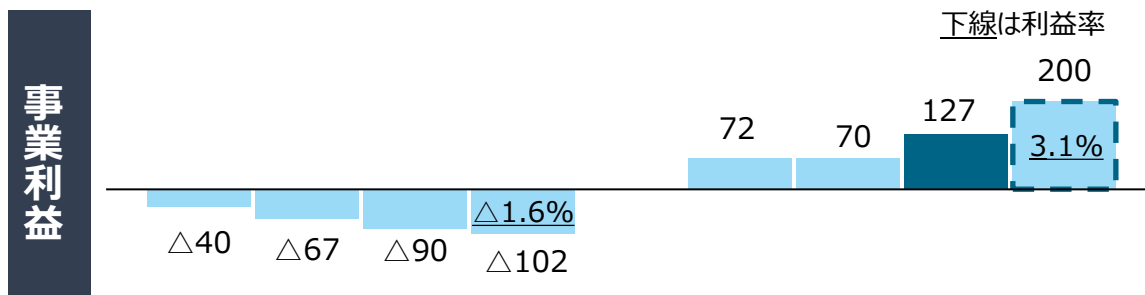
(主な事業の受注)

	FY20-3Q	FY21-3Q
エンジニアリング	1,034	826
製鉄機械	1,000	3,155
機械システム	998	1,146



(主な事業の売上)

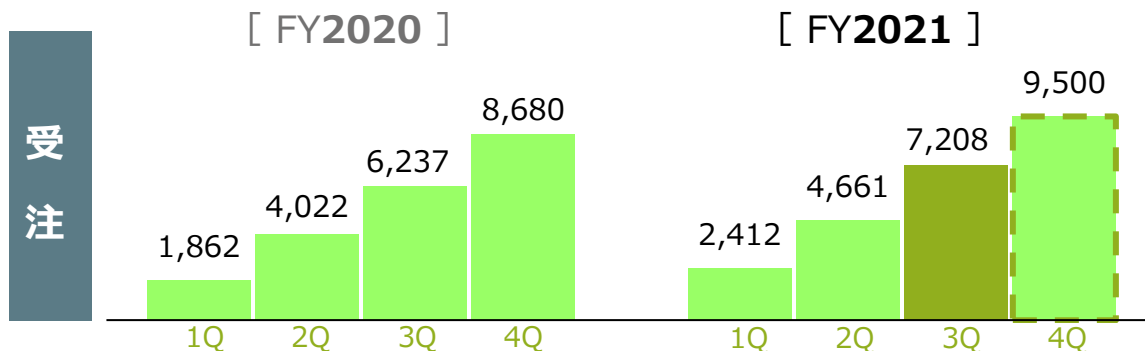
	FY20-3Q	FY21-3Q
エンジニアリング	1,118	1,017
製鉄機械	1,457	1,641
機械システム	934	970



- 製鉄機械の受注は、世界的なコロナ影響からの回復に伴う鉄鋼需要増大を背景に好調。脱炭素・水素活用に関する新規の引き合いも増加。
- 海外の一部工事の追加費用や拠点統廃合に伴う損失はあるものの、構造改革は順調に進捗。

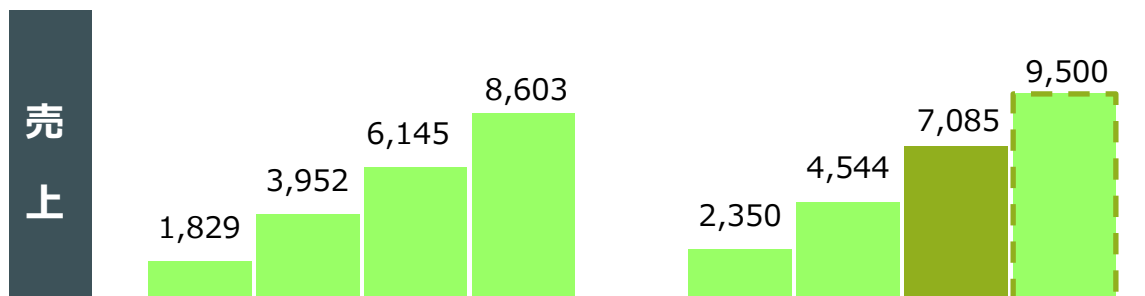
補足資料 第3四半期決算実績〈物流・冷熱・ドライブシステム〉

(億円・各期の数値は累計)



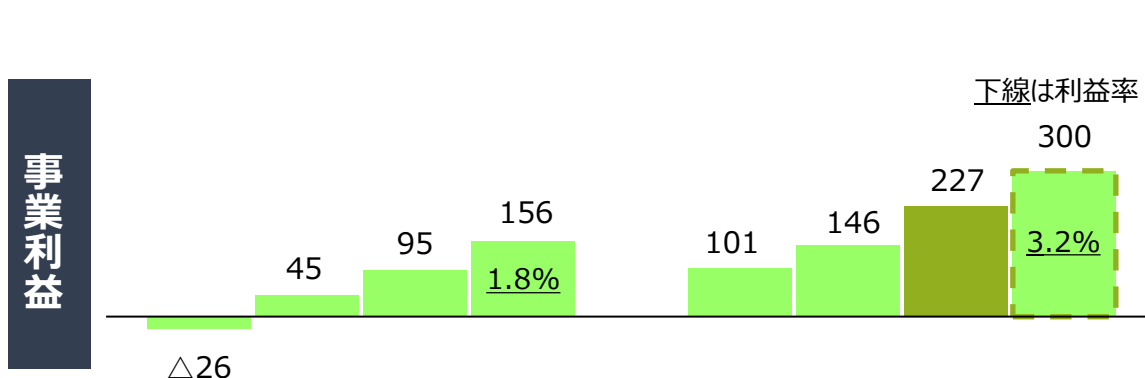
(主な事業の受注)

	FY20-3Q	FY21-3Q
物流機器	2,834	3,366
エンジン・ターボチャージャ	1,693	1,789
冷熱・カーエアコン	1,749	2,114



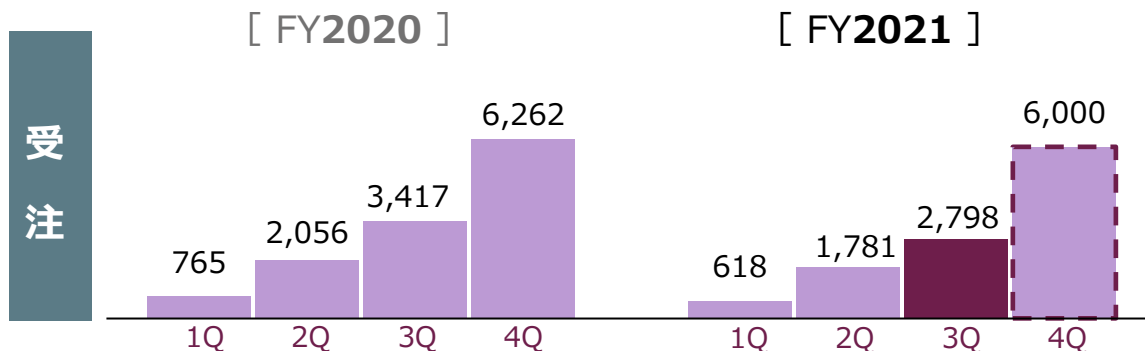
(主な事業の売上)

	FY20-3Q	FY21-3Q
物流機器	2,835	3,366
エンジン・ターボチャージャ	1,650	1,752
冷熱・カーエアコン	1,704	2,026

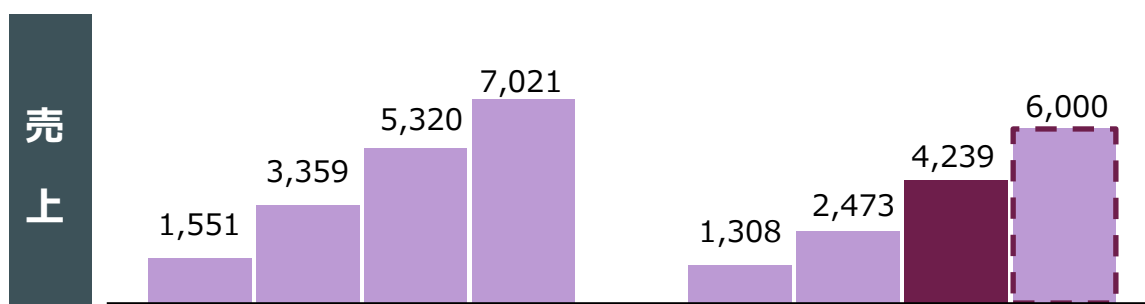


- 物流機器・冷熱・エンジンの受注・売上は好調であり、FY19を上回るペースで推移。
- 自動車メーカーの生産調整や半導体不足の影響を受け、ターボチャージャ・カーエアコンの受注・売上は回復ペース伸び悩み。
- 材料費・輸送費の高騰や半導体不足の減益影響は継続しているものの、売価アップ等でカバー。

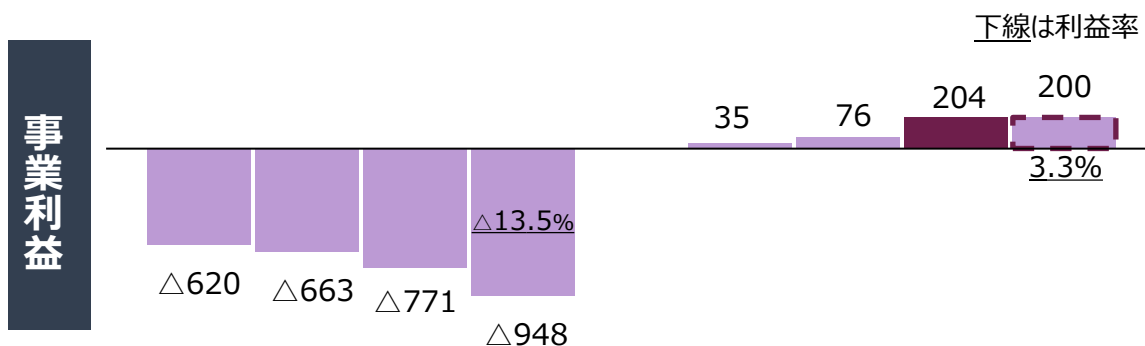
(億円・各期の数値は累計)



	FY20-3Q	FY21-3Q
防衛・宇宙	2,329	1,960
民間機	1,088	838



	FY20-3Q	FY21-3Q
防衛・宇宙	3,927	3,403
民間機	1,394	835



- 民間航空機のTier1事業は、Boeingの減産の影響により減収。
- セグメント全体では、固定費削減他コストダウン施策の効果により、前年同期比増益かつ黒字。

ガスタービン 受注台数・契約残台数

大型	FY20 3Q	FY20 通期	FY21 3Q
米州	4	4	-
アジア	2	4	3
EMEA	3	3	-
その他	-	2	6
合計	9	13	9
契約残台数	46	48	41

中小型	FY20 3Q	FY20 通期	FY21 3Q
米州	-	6	-
アジア	-	-	1
EMEA	-	-	-
その他	-	-	-
合計	0	6	1
契約残台数	8	5	6

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	3	10	7	4	24
FY2021	5	4	6		

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	3	3	0	1	7
FY2021	2	1	1		

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY2020	18	32	20	14	84
FY2021	14	5	4		

研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位：億円)

	FY20-3Q	FY21-3Q	FY21見通し
研究開発費	846	755	1,300
減価償却費	1,055	984	1,300
設備投資	861	844	1,200

販売費及び一般管理費

(単位：億円)

	FY20-3Q	FY21-3Q
販管費	3,956	4,048

為替レート (売上計上平均レート)

	FY20-3Q	FY21-3Q
USドル (円/USドル)	106.6	110.5
ユーロ (円/ユーロ)	121.8	130.0

MOVE THE WORLD FORWARD

**MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP**